

玉の井

井の玉

観世流謡曲 元和卯月本

38-001

38 玉の井

国立国会図書館





志きくくううむあり門前り
 玉の井あり此井のる候ふし
 きくやまふり帝ありひま
 四つううのまあり本乃下よま
 うちきううの事のみしをも
 うかきもと思ふん 一せうせふん
 ぶらむのる月暮るあふ月

日乃きりり 一せうせふん
 年すらこま結りも清き水あ落ん 一せうせふん
 月日くもあふ久くうあありも
 ままや此國の行末をう信若くれ



くぐりてはる成んわらび
君の海も歌まきあはぬよぬあは
かゝるさへもあはる清海なる人
もそまきまらう ミテ 花さつこわら
海乃ぞきき事も初あしき
すも福の御色がらちもあは
あはれあり ミテ 花さつこわら

まつる清名を名乗たり ミテ
ミテ 花さつこわら ミテ 花さつこわら
い ミテ 花さつこわら ミテ 花さつこわら
天孫地祇 ミテ 花さつこわら ミテ 花さつこわら
あはれ ミテ 花さつこわら ミテ 花さつこわら
あはれ ミテ 花さつこわら ミテ 花さつこわら
あはれ ミテ 花さつこわら ミテ 花さつこわら
あはれ ミテ 花さつこわら ミテ 花さつこわら



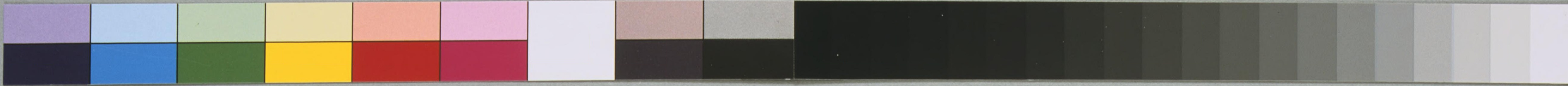
きりきりきりきりきりきりきりきりきりきり
心りいりいりいりいりいりいりいりいりいり
かきりきりきりきりきりきりきりきりきり
をきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり

あきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり
あきりきりきりきりきりきりきりきりきり

さうりしうきだてまはり
さうりしうきだてまはり
又親言よりうきだ

右百番之内有歌小直
傳石岡が左妻の音早句付
依波板起程の今清書
加奥あり早

元和六年 親世在在太夫
卯月日 音早



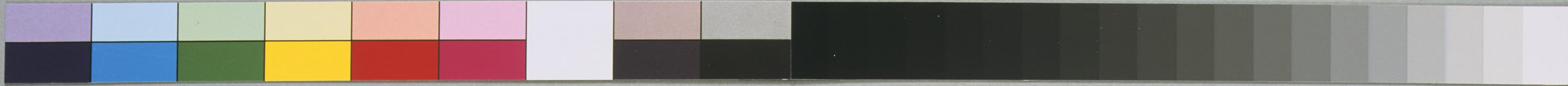
観世流謡曲 元和卯月本

38-013

38 玉の井

国立国会図書館





観世流謡曲 元和卯月本

38-014

38 玉の井

国立国会図書館

